



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月14日

上場会社名 東プレ株式会社

上場取引所 東

コード番号 5975 URL <https://www.topre.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 内ヶ崎 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 野田 貴之

TEL 03-3271-0711

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	107,988	10.1	8,764	18.3	7,705	41.1	5,471	38.4
2019年3月期第2四半期	98,046	8.1	10,726	5.3	13,075	4.2	8,877	0.8

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 3,127百万円 (60.9%) 2019年3月期第2四半期 8,000百万円 (19.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	104.26	
2019年3月期第2四半期	169.15	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	255,381	149,993	57.6	2,801.92
2019年3月期	239,172	159,269	62.4	2,845.25

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 147,052百万円 2019年3月期 149,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		30.00		30.00	60.00
2020年3月期		30.00			
2020年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	6.8	15,500	22.3	15,000	30.9	10,500	31.7	200.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 3社 (社名) 三池工業株式会社、 広州三池汽車配件有限公司、 PT.Topre Indonesia Autoparts、 除外 -社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	54,021,824 株	2019年3月期	54,021,824 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,538,963 株	2019年3月期	1,538,788 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	52,483,006 株	2019年3月期2Q	52,480,929 株

当社は、2017年3月期第2四半期会計期間より、役員報酬BIP信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式は自己株式に含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、当社は2019年12月2日(月)にアナリスト・機関投資家の皆様向けに決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計方針の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(セグメント情報等)	12
(企業結合等関係)	14
(重要な後発事象)	15
3. その他	16
(継続企業の前提に関する重要事象等)	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①概況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、主に自動車用プレス部品の好調により、売上高1,079億8千8百万円、前年同期比99億4千2百万円の増収(10.1%増)となりました。しかしながら、国内拠点を中心に売上が増加したものの、海外拠点における売上原価の増加などにより、営業利益87億6千4百万円、前年同期比19億6千2百万円の減益(18.3%減)となりました。経常利益は、主に為替差損の影響で、77億5百万円、前年同期比53億7千万円の減益(41.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、54億7千1百万円、前年同期比34億5百万円の減益(38.4%減)となりました。

②事業セグメント別の状況

<プレス関連製品事業>

自動車関連部門におきましては、2019年5月に子会社化した三池工業株式会社の新規連結に伴う売上増加により、また、「Topre America Corporation」や「東普雷(佛山)汽車部件有限公司」を中心とする海外拠点が好調に推移したことにより、プレス関連製品事業全体での売上高は、792億6千7百万円、前年同期比112億1千8百万円の増収(16.5%増)となりました。しかしながら、金型製作の高負荷を要因とする売上原価の増加や、新規立ち上がりに伴うコスト増などにより、セグメント利益(営業利益)は、49億6千4百万円、前年同期比20億4千万円の減益(29.1%減)となりました。

<定温物流関連事業>

冷凍車部門におきましては、宅配向けの軽自動車は好調であったものの、小型車を中心に受注・生産は前年同期を下回りました。この結果、定温物流関連事業全体での売上高は、239億7千8百万円、前年同期比10億4千7百万円の減収(4.2%減)となりました。しかしながら、生産効率の向上や原価低減による合理化の実現により、セグメント利益(営業利益)は、32億9千7百万円、前年同期比1億9千2百万円の増益(6.2%増)となりました。

<その他>

空調機器部門におきましては、前年度好調であったビル空調システムの売上減少などにより、全体的な売上は前年同期を下回りました。また、電子機器部門におきましては、キーボード「REALFORCE」の販売が国内を中心に引き続き好調だったものの、タッチパネルなどの企業向け製品の売上は前年を下回りました。その結果、その他の事業全体での売上高は、47億4千2百万円、前年同期比2億2千9百万円の減収(4.6%減)となりました。セグメント利益(営業利益)は、5億2百万円、前年同期比1億1千4百万円の減益(18.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産の部)

流動資産は、主に現金及び預金の減少やたな卸資産の増加により、1,031億4千7百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資による有形固定資産の増加により、1,522億3千4百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ162億9百万円増加の2,553億8千1百万円となりました。

(負債の部)

流動負債は、主に支払手形及び買掛金や短期借入金の増加などにより、803億3千9百万円となりました。

固定負債では、主に長期借入金の増加などにより、250億4千9百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ254億8千5百万円増加の1,053億8千8百万円となりました。

(純資産の部)

主に連結子会社であるトプレック株式会社の株式取得による非支配株主持分の減少などにより、前連結会計年度末に比べ92億7千6百万円減少の1,499億9千3百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べ93億1千2百万円減少し、167億4千3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、130億2千4百万円の増加となりました。主な増加要因は税金等調整前四半期純利益81億6百万円、減価償却費84億2千万円です。主な減少要因は、たな卸資産の増加95億1千万円、法人税等の支払額42億6千5百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、226億2千万円の減少となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入8億3千8百万円です。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出222億8千3百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億2千9百万円の増加となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入154億1千2百万円、主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出112億6千9百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期連結業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表しております「2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,825	17,506
受取手形及び売掛金	47,052	45,460
有価証券	2,548	2,342
たな卸資産	19,629	29,875
その他	6,697	8,036
貸倒引当金	△46	△73
流動資産合計	101,707	103,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,434	35,826
機械装置及び運搬具(純額)	31,641	36,631
建設仮勘定	22,989	30,458
その他(純額)	24,201	23,660
有形固定資産合計	112,266	126,577
無形固定資産	1,619	3,159
投資その他の資産		
投資有価証券	21,775	20,088
その他	1,812	2,417
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	23,578	22,496
固定資産合計	137,465	152,234
資産合計	239,172	255,381

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,930	47,568
短期借入金	3,242	6,982
1年内返済予定の長期借入金	2,220	5,556
未払法人税等	3,609	2,446
賞与引当金	1,895	2,011
役員賞与引当金	77	37
製品保証引当金	139	135
その他	13,627	15,600
流動負債合計	67,742	80,339
固定負債		
長期借入金	6,273	18,890
長期末払金	88	45
繰延税金負債	3,703	3,486
P C B 処理引当金	104	103
役員株式給付引当金	62	71
役員退職慰労引当金	-	133
退職給付に係る負債	523	255
その他	1,404	2,063
固定負債合計	12,160	25,049
負債合計	79,903	105,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,610	5,610
資本剰余金	8,251	4,446
利益剰余金	130,688	134,582
自己株式	△1,110	△1,111
株主資本合計	143,439	143,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,295	3,464
為替換算調整勘定	2,148	570
退職給付に係る調整累計額	△555	△509
その他の包括利益累計額合計	5,888	3,525
非支配株主持分	9,941	2,940
純資産合計	159,269	149,993
負債純資産合計	239,172	255,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	98,046	107,988
売上原価	80,988	91,907
売上総利益	17,057	16,080
販売費及び一般管理費	6,330	7,316
営業利益	10,726	8,764
営業外収益		
受取利息	137	115
受取配当金	252	267
固定資産賃貸料	54	58
為替差益	1,635	-
助成金収入	69	14
持分法による投資利益	189	102
その他	184	259
営業外収益合計	2,523	817
営業外費用		
支払利息	61	173
固定資産賃貸費用	11	10
為替差損	-	1,590
災害による損失	36	-
外国源泉税	14	14
その他	51	88
営業外費用合計	174	1,876
経常利益	13,075	7,705
特別利益		
固定資産売却益	48	17
投資有価証券売却益	730	247
負ののれん発生益	-	254
特別利益合計	778	518
特別損失		
固定資産除却損	48	109
減損損失	101	0
投資有価証券売却損	23	7
ゴルフ会員権評価損	19	-
特別損失合計	193	117
税金等調整前四半期純利益	13,660	8,106
法人税、住民税及び事業税	3,922	2,964
法人税等調整額	192	△383
法人税等合計	4,115	2,580
四半期純利益	9,545	5,526
非支配株主に帰属する四半期純利益	668	54
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,877	5,471

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	9,545	5,526
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△887
為替換算調整勘定	△1,570	△1,505
退職給付に係る調整額	120	45
持分法適用会社に対する持分相当額	△69	△51
その他の包括利益合計	△1,544	△2,398
四半期包括利益	8,000	3,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,322	3,110
非支配株主に係る四半期包括利益	677	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,660	8,106
減価償却費	6,878	8,420
減損損失	101	0
負ののれん発生益	-	△254
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32	18
賞与引当金の増減額(△は減少)	60	55
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△44	△39
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	2	9
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△5	△3
P C B 処理引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△70	△216
受取利息	△137	△115
受取配当金	△252	△267
支払利息	61	173
為替差損益(△は益)	△1,323	1,420
持分法による投資損益(△は益)	△189	△102
投資有価証券売却損益(△は益)	△706	△239
固定資産売却損益(△は益)	△48	△17
固定資産除却損	48	109
売上債権の増減額(△は増加)	△2,611	5,092
仕入債務の増減額(△は減少)	2,393	4,496
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,043	△9,510
その他	479	44
小計	16,284	17,178
利息及び配当金の受取額	349	295
利息の支払額	△48	△184
法人税等の支払額	△3,697	△4,265
法人税等の還付額	361	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,249	13,024
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△177	△256
定期預金の払戻による収入	1,595	252
有価証券の取得による支出	△530	△630
有価証券の売却及び償還による収入	829	351
有形固定資産の取得による支出	△20,102	△22,283
有形固定資産の売却による収入	76	334
無形固定資産の取得による支出	△66	△1,586
投資有価証券の取得による支出	△1,160	△363
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,030	838
関係会社株式の取得による支出	△316	△43
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	885
貸付けによる支出	△142	△135
貸付金の回収による収入	23	132
その他	△24	△115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,965	△22,620

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△447	△4,785
短期借入れによる収入	1,423	4,814
長期借入金の返済による支出	△1,005	△1,440
長期借入れによる収入	169	15,412
社債の償還による支出	-	△62
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△343	△552
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△11,269
セール・アンド・リースバックによる収入	-	352
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	10	-
配当金の支払額	△1,573	△1,565
非支配株主への配当金の支払額	△173	△173
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,939	729
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,240	△9,312
現金及び現金同等物の期首残高	31,419	26,056
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	589	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,768	16,743

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2019年7月31日付で、当社の子会社であるトプレック株式会社の株式を追加取得しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が3,805百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が4,446百万円となっております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、PT. Topre Indonesia Autoparts を新たに設立したことにより、連結の範囲に含めております。

また、三池工業株式会社の株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。これに伴い同社の子会社である株式会社栃木三池、広州三池汽车配件有限公司、深圳三池汽车配件有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、三池工業株式会社の株式取得により、同社の関連会社である AAPICO Mitsuike (Thailand) CO., Ltd. を持分法の適用の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	68,048	25,026	93,074	4,971	98,046	—	98,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	7	87	262	350	△350	—
計	68,128	25,033	93,162	5,234	98,396	△350	98,046
セグメント利益	7,005	3,104	10,109	616	10,726	—	10,726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	プレス関連 製品事業	定温物流 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	79,267	23,978	103,246	4,742	107,988	-	107,988
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80	8	89	192	282	△282	-
計	79,348	23,987	103,335	4,935	108,271	△282	107,988
セグメント利益	4,964	3,297	8,262	502	8,764	-	8,764

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、空調機器、電子機器、表面処理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、三池工業株式会社の株式を取得し連結子会社としたことにより、負ののれん発生益254百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益に計上しているため、セグメント利益には含めておりません。

(企業結合等関係)

共通支配下の取引等

(子会社株式の追加取得)

当社は、2019年7月12日開催の取締役会において、連結子会社であるトプレック株式会社の株式を追加取得し、当社グループ内の持分比率を100%に引き上げることを決議いたしました。その後、2019年7月31日付で株式取得が完了したことにより、トプレック株式会社は当社の完全子会社となりました。

当該株式取得の概要は以下のとおりであります。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	トプレック株式会社
事業の内容	冷凍・冷蔵車関連製品の販売

②企業結合日

2019年7月31日

③企業結合の法的形式

株式の取得

④結合後企業の名称

変更はありません。

⑤その他取引の概要に関する事項

当社はトプレック株式会社の株式の25%を追加取得し、持分比率は75%となりました。また、トプレック株式会社は同社株式の25%を自己株式として新規取得することで、当社グループ内の持分比率は100%となりました。

当該追加取得によって、当社グループ内における、より一層の連携強化や意思決定の迅速化を図ることが可能になると考えております。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日)に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

(3) 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	11,269百万円
取得原価		11,269百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 17百万円

(重要な後発事象)

(社債の発行)

2019年8月22日に開催した取締役会において、社債の発行に関する決議を行い、以下のとおり普通社債を発行しました。

東プレ株式会社第1回無担保社債(社債間限定同順位特約付)

- | | |
|----------|-------------------|
| (1) 発行日 | 2019年10月21日 |
| (2) 発行総額 | 200億円 |
| (3) 発行価額 | 額面100円につき100円 |
| (4) 利率 | 年0.200% |
| (5) 償還期限 | 2024年10月21日 |
| (6) 担保 | 無担保 |
| (7) 資金使途 | 当社及び当社関係会社の設備投資資金 |
| (8) 募集方法 | 公募 |

3. その他

(継続企業の前提に関する重要事象等)
該当事項はありません。